

すめらみことたてまつ  
天皇に献る歌二首

七二五番

にほ鳥どりの 潜かづく池水いけみづ 心こころあらば 君きみに我あが恋こふる  
心こころ示しさね

七二六番

外よそに居ゐて 恋こひつつあらずは 君きみが家いへの 池いけに住す  
むといふ 鴨かもにあらましを

おほどものすくねやかもち  
大伴宿禰家持、  
さかのうへのいへ、おほせとち  
坂上家の大嬢に贈る歌二首

七二七番

忘れ草わすれぐさ 我わが下紐したびもに 着つけたれど 醜しこの醜草しこぐさ 言こと  
にしありけり

七二八番

人もなき 国くにもあらぬか 我わ妹子もこと 携たづひ行ゆきて  
たぐひて居をらむ